

第3回日本少年野球 フレッシュ1年生群馬県支部大会

1. 大会の目的

- ・大会を通じ交流や親睦を深め、ボーイズリーグの普及と発展に努める。
- ・試合の中でもいさつや礼儀を実践させ、中学生の健全育成に努める。
- ・多くの関係者の協力のもとで大会を開催できる事に素直に感謝できる中学生を育てる。
- ・社会の秩序を理解できる中学生を育てる。

2. 大会要項

- ◆日程◆ 令和元年12月7日（土）、8日（日）、15日 予備日：未定
- ◆会場◆ 広沢球場・富博記念球場・小串グランド・高崎南部球場
- ◆参加チーム◆ 公益財団法人日本少年野球連盟 群馬県支部中学部1年生（A/B含む） 14チーム
- ◆試合方式◆ トーナメント方式
- ◆抽選会◆ 令和元年11月16日（土） グレースイン前橋市民球場（支部役員代理抽選）
- ◆開会式◆ なし
- ◆閉会式◆ なし
- ◆選手登録◆ 1年生選手とする
- ◆資格◆ 2019年度連盟登録チーム所属の登録選手及び、指定損害保険加入者
- ◆規則◆ 2019年公認野球規則及び日本少年野球連盟主催大会規定による
- ◆主催◆ 公益財団法人日本少年野球連盟 群馬県支部
- ◆組合せ◆

試合スケジュール

		広沢球場		富博球場		小串球場		南部球場					
12月7日（土）	第一試合	桐生	×	前橋中央A	群馬西毛	×	藤岡A	高崎中央A	×	藤岡B	高崎	×	高崎中央B
	第二試合	桐生	×	渋川	群馬西毛	×	伊勢崎	館林	×	上州	北毛	×	前橋中央B
	第三試合	前橋中央A	×	渋川	藤岡A	×	伊勢崎	高崎中央A	×	館林	高崎	×	北毛
		広沢球場		小串球場									
12月8日（日）	第一試合	高崎中央A	×	上州	高崎	×	前橋中央B						
	第二試合	館林	×	藤岡B	高崎中央B	×	北毛						
	第三試合	藤岡B	×	上州	高崎中央B	×	前橋中央B						

決勝トーナメント（15日 富博記念球場）



大会特別規定

1. 本大会に参加できる選手は、所属団体において、2019 年に登録されたチームで 2019 年に登録された者ものとし 1 年生のみの出場とする。
2. チームは単独・又は合同チームとする。また、グラウンドインから試合終了まで、ベンチに入ることができる役員は、代表（チーム責任者）・監督・コーチ・マネージャー（スコアラー）の 4 名とする。選手・監督・コーチは同一ユニホームとする。チーム責任者は本部席において試合運営の補助を行っても問題ない。
3. ベンチ入り選手は 1 年生すべての選手を認める。
4. 野球規則は、本年度公認野球規則とする。また、本規定において確認できない事項については昨年の大会約款を参考とする。
5. 各チームは必ず成人であるチーム責任者が引率し大会中、選手の全ての行動並びに応援に対し責任を負うこと。
6. 大会用ボールは出場チームで各試合 3 球を審判に提出すること。ボールのメーカーは指定しないが、試合球（公式球）とすること。ロージンは各チームで自チームのピッチャーに持たせる。
7. 資格審査は行わない。ただし、オーダー表は当該チームで各 5 部づつ交換し、審判・アナウンス・記録員に 1 部（計 3 部）配布すること。次に用具の安全点検を行う。確認後、審判員立ち会いのもとで両チームの監督と主将で攻守を決める。その際、試合と球場規則の説明を両チームに行う。
8. 各試合は 6 回戦とし、4 回終了時 10 点差もしくは、5 回終了時 7 点差の場合コールドゲームとする。（決勝戦にもコールドゲームを適用する）また、本大会はサスペンデッドゲームを採用しない。
9. 6 回終了後、同点の場合は延長戦、タイブレークは実施せず、抽選により勝敗を決定する。
10. 降雨その他の理由により試合続行不能の場合、4 回終了をもって正式試合とし、それ以前の場合は再試合とする。（この場合審判員協議の上で決定する）
11. 投手は、ダブルヘッダーでの連投を認めるが、同一日に 7 回を越えて投球することはできない。ただし、端数回数は試合毎に切り上げて 1 回とする。例えば 1 試合目で 2 回 1/3 を投げた場合は 3 回と計算し、次の試合で 4 回を越えて投球できない。また JABA の中学生投手の投球制限ガイドラインを適用する。
12. 選手が打席に入る時、必ず耳付きヘルメットをかぶること。また、走者になっても危険防止のため必ず着用する。なお、捕手も防護用ヘルメットと防具を着用すること。（練習時も含む）
13. 代替走者を認める。ただし、特別な事情な場合（死球など）に限り、少し休めば試合に出場できると審判員が判断した時に適用できる。この場合、その打者の最も近い打撃の完了した選手（投手捕手を除く）を代替走者とする。
14. 審判のジャッジには必ず従い抗議は認めない。規則上の疑義申し出は監督が行い攻守交代の際 2 分以内で説明を求めることができる。
15. 傷害措置については、大会中の負傷または疾病に対して応急措置は施すが、それ以上主催者は責を負わない。
16. ベンチは組合せ表の上段（左側）のチームを 1 墓側とする。
17. グラウンドインしたチームは、球場責任者の指示のもと、速やかに試合前の練習を行うこと。
グラウンドルールがある場合はそれに従うこと。
18. 試合前のシートノックは、開始放送時間より 5 分間とする。（時間厳守）
19. 試合を迅速に行うために下記の項目を守ること。
 - 攻守交代時に守備に移るチームが迅速にポジションに着くことはもちろんのこと、攻撃に入るチームも第 1 打者とベース

コーチは、ミーティング（円陣）に加わらず、所定の位置に速やかにつくこと。

- 投手は投手版に触れている状態で捕手からサインを受けること。
- 打者は、みだりにバッターボックスを出ることを許されない。たとえ、タイムを要求しても審判員がタイムを宣言しないときはインプレーとする。
- 次打者は必ずウェーティングサークルに入り、膝について待機すること。危険防止をふまえた上で、片膝についてスイングすることは、場合により認められる。（投手が次打者になる場合も同様である）
- 捕手が投手に返球する時は立って行うこと。
- 捕手は投手に返球する時や、野手に声をかける際に一球ごとにホームプレートの前に出ないこと。

19. 監督又はコーチがマウンドに行く制限は、2回までとし、3回目に投手は自動的に交代となるが、投手は試合から除かれる事はなく、他の守備につくことができる。

20. コーチャーズボックスに入るコーチャーは、相手捕手を惑わすような動きをしてはならない。

21. 墓上の走者は相手捕手のサインやミットの位置を打者やベンチに伝達するような行為をしてはならない。

22. ベンチ入りメンバー以外からボールボーイ2名を選出し、大会運営に協力する。ボールボーイはユニホーム（上着）を着用しない。またベンチ入りメンバーが18名に満たない場合はベンチ入り選手がボールボーイを兼ねるも可とする。

23. 選手の手袋の使用については、対戦チームの不利益にならない範囲で使用を認める。

24. ゴミ（タバコの吸殻を含む）は、球場（グランド・スタンドを問わず）に捨てず、必ず持ち帰ること。スタンドで応援する選手・保護者等にも徹底すること。チーム責任者が最後まで責任を持って環境整備を行うこと

25. 楽器・ペットボトルを使用した鳴り物の応援は禁止とする。特に、試合球場周辺に住宅がある場合は住民に迷惑となるような音や声は出さないように注意する。

26. 球場費・審判昼食・当番費用は各球場の参加チームにより折半で行い、その責任は球場当番が行うものとする。

Aブロック

	☆	1	2	3
a	桐生	☆		
b	前橋中央A		☆	
c	渋川			☆

Bブロック

	☆	1	2	3
d	群馬西毛	☆		
e	藤岡A		☆	
f	伊勢崎			☆

Cブロック

	☆	1	2	3	4
g	高崎中央A	☆			
h	藤岡B		☆		
i	館林			☆	
j	上州				☆

Dブロック

	☆	1	2	3	4
k	高崎	☆			
l	高崎中央B		☆		
m	北毛			☆	
n	前橋中央B				☆